

平成22年度一般会計当初予算説明資料

10款 教育費

6項 社会教育費

家庭・地域教育課（内線：7519）

1目 社会教育総務費

（単位：千円）

事業名	本年度	前年度	比較	財 源 内 訳				備考
				国庫支出金	起債	その他	一般財源	
悩みを抱える青少年の社会参加促進事業	2,000	1,900	100				2,000	
トータルコスト	3,614千円（前年度3,557千円）〔正職員：0.2人〕							
主な業務内容	団体への委託金支払事務、事業企画・運営への参画、フォーラムの開催等							
工程表の政策目標（指標）	—							
事業内容の説明								
1 事業の目的・概要								
<p>NPO等と連携し、不登校、ひきこもり等で悩みを抱える青少年に対し、自然体験や生活体験、労働体験等をする機会を提供して、学校復帰や社会参加等の自立をサポートする。</p> <p>また、県内で悩みを抱える青少年の自立支援活動を行っている団体のネットワークを拡大・強化し、全县どこでも連携して青少年を支援する体制を充実する。</p>								
2 主な事業内容								
	区分	事業内容						
体験活動参加事業の実施	実施期間	平成22年5月～平成23年2月（年間12回程度）						
	対象者	不登校、ひきこもり傾向の小学生から30歳までの青年（15名程度）						
	活動内容	動物とのふれあい、自然散策、農業体験、奉仕活動、作業所での労働体験等を行う。						
報告会の開催	開催場所	県西部地区（予定）						
	対象者	青少年育成団体関係者及び県民						
	内容	体験活動参加事業の実施成果を県民に広く啓発するとともに、悩みを抱える青少年の自立を社会全体で支えていく方策について考える。						
委託先：鳥取発居場所ネット（県内NPO法人等20団体の集合団体）								
3 これまでの取組状況、改善点								
<p>現在、不登校やひきこもりの青少年の支援を行っている県内20のNPO等団体で、ネットワークを形成し、体験活動参加事業のほか、訪問相談などの支援を実施している。</p> <p>事業の実施成果を県民に広く啓発するとともに、悩みを抱える青少年の自立を社会全体で支えていく方策について考えるため、年度末に報告会を開催予定。</p>								